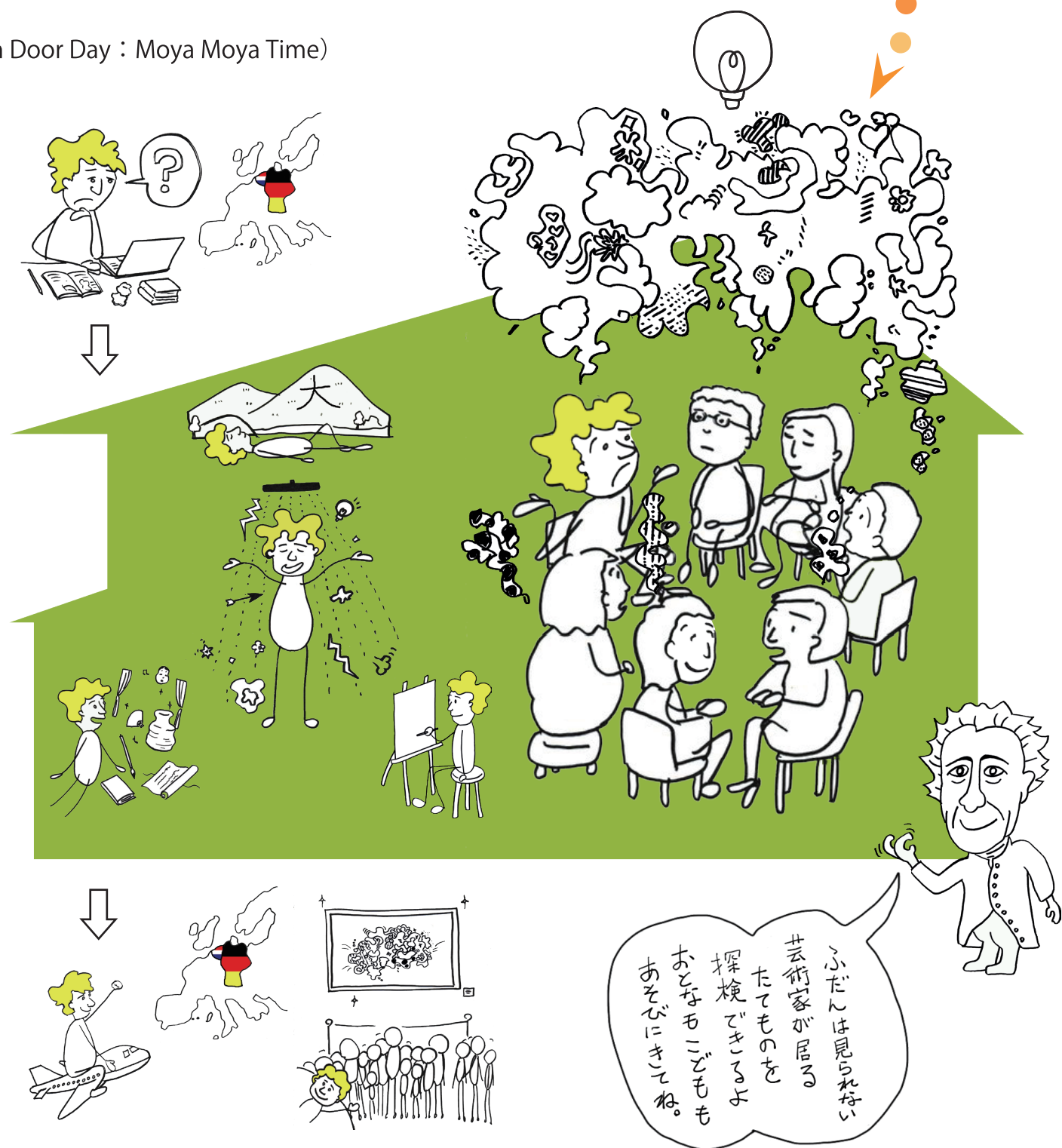


ゲーテ・インスティトゥート・ヴィラ鴨川：オープン・ドア・デイ

「もやもやタイム」：芸術家の創作プロセスに参加しよう！

2024 年 7 月 6 日（土）11:00-17:00

(Open Door Day : Moya Moya Time)



ゲーテ・インスティトゥートは、ドイツ連邦共和国の文化機関で、世界各地約 150 カ所で文化活動を行っています。ヴィラ鴨川では、ドイツをはじめヨーロッパで活躍する芸術家を招聘し、3 ヶ月間日本に滞在しながら創作活動を行う機会を提供します。招聘された芸術家は、故郷のアトリエから遠く離れた京都を拠点にしながら、日本の文化シーンと交流し、新たな発想を得て、自分たちのプロジェクトを展開します。「オープン・ドア・デイ」で、ヴィラ鴨川の芸術家と交流して、彼らの創作プロセスに参加してみませんか？ 芸術家たちが何をしようとしているのかを知って、一緒に「もやもや」してみましょう。あなたの何気ない一言が芸術家への「インスピレーションのシャワー」になるかもしれません。

**GOETHE
INSTITUT**
VILLA KAMOGAWA

ゲート・インスティトゥート・ヴィラ鴨川：オープン・ドア・デイ
「もやもやタイム」：芸術家の創作プロセスに参加しよう！

- 日時：2024年 7月6日 (土) 11:00 - 17:00 ●会場：ゲート・インスティトゥート・ヴィラ鴨川
- 参加無料 ●日英逐次通訳あり ●入退場自由 (だれでもいつでもどのプログラムからでも参加できます)
- 飲食物の販売はありません (持ち込みの軽食やフタ付き容器に入った飲料は指定のエリアで飲食していただけます)



開始	プログラム	③あなたも芸術家なら何を？ (ワークショップ)
11:00	(館長から挨拶) ①オープン・レジデンス(ヴィラ鴨川を探検しよう)	
11:30	②ミハエラ・ビュッセの「もやもやタイム」 共有しよう・考えよう・話そう	
12:15	①オープン・レジデンス(ヴィラ鴨川を探検しよう)	
13:15	②クリスティン・ベルクの「もやもやタイム」 共有しよう・考えよう・話そう	
14:00	①オープン・レジデンス(ヴィラ鴨川を探検しよう)	
14:45	②エミー・リープレヒツ&フェナ・コートの「もやもやタイム」 共有しよう・考えよう・話そう	
15:30	①オープン・レジデンス(ヴィラ鴨川を探検しよう)	
16:15	②藤田龍平(ゲスト)の「もやもやタイム」 共有しよう・考えよう・話そう	

17:00 終了

①オープン・レジデンス

普段見られない、ヴィラ鴨川の建物内を探検しましょう。芸術家が滞在するための部屋や共同キッチン、リビングやアトリエなど、建物の各所にヴィラ鴨川にまつわる質問や小話が隠れています。探して、答えて、ヴィラ鴨川をより深く知ってください。

②「もやもやタイム」

滞在中の芸術家3組と、ゲストの芸術家1名が、それぞれの活動や作品の構想をプレゼンします。今、その芸術家がどんなことに興味を持ち、何に「もやもや」しているかを聞き、一緒に考え、話すことで、芸術家の創作プロセスに参加してください。堅苦しく考えず、気軽にご参加ください。意見を言わないといけなということもありません。

③あなたも芸術家ならなにをする？

あなたも芸術家なら、なにをするかを考えるワークショップです。どこに行って、何をして、誰に会って、どんな作品を作るかを、絵や文で書いてみましょう。ぜひ親子で参加してください。

■ミハエラ・ビュッセ (学際的研究者、キュレーター)

都市化プロセスや気候保全などの文脈におけるインフラの発展や、「環境変容」に関心をもつ。ヴィラ鴨川滞在中は、日本の工業化における海岸埋め立てのプロセスを調査し、変わりゆく自然への理解が、今日の土地利用にどのような影響をもたらしているのかを探りたいと考えている。

■エミー・リープレヒツ&フェナ・コート (美術家)

京都では、慣習、伝統、神話など、明文化されたルールや暗黙のルールが、生活空間の中にどのように埋め込まれているかに興味を抱いている。コートは、建築空間が社会構造にどのような影響を与えるか、リープレヒツは、身体的なものや内部で起こっていることに重点を置いている。

■クリスティン・ベルク (美術家、映画監督)

言葉の無い世界や憧れの場所を人間と共に中心に創り出し、それらを元に現在のパドックスな状況を掘り下げるような、詩的な映像作品を作っている。京都では、自然光での撮影に取り組み、日本の映画産業や撮影場所についてリサーチしたいと考えている。

■藤田 龍平 (図画工作と表現)

芸術家と呼ばれる人々は、往々にして「難しい・特別なことをしている・他の人とは違う」と喧伝されがちです。しかし違いがあるとすれば、何かを感じてそれを形にしたり人に伝えたりするときに、「こうしたらどうなるだろう」と試行錯誤する量の違いだけです。ということを伝えたいと考えている。



主催・問い合わせ：ゲート・インスティトゥート・ヴィラ鴨川
京都市左京区吉田河原町19-3
TEL 075-761-2188
info-villa-kamogawa@goethe.de



助成：一般財団法人山岡記念財団
企画協力：藤田龍平